

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【崎山地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収

調査期間：[発送] 平成23年7月8日 [回答の返送締切] 平成23年7月26日

対象者：被災地域及びその周辺の各世帯

配布数：【市全体】6,644世帯 【崎山地域】85世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【崎山地域】36世帯

回収率：【市全体】48.2% 【崎山地域】42.4%

2. 集計結果(崎山地域分)

(1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。

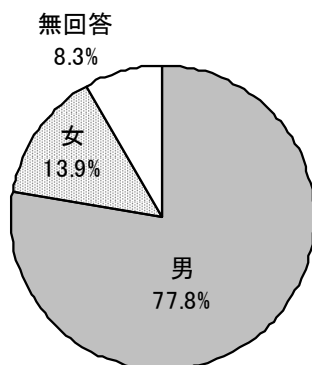
それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「50歳代以上」の回答者が多くなっています。また、二世帯＋三世帯世帯が60%以上を占めています。

ア：性別

	全体	崎山
男	2,172	28
女	814	5
無回答	214	3
計	3,200	36

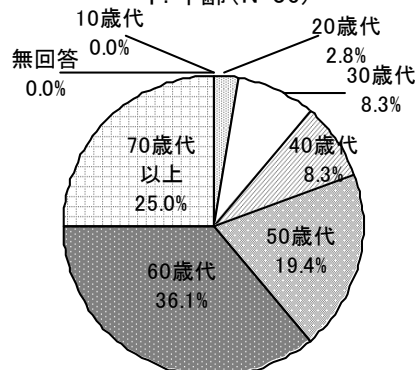
ア：性別(N=36)



イ：年齢

	全体	崎山
10歳代	1	0
20歳代	51	1
30歳代	218	3
40歳代	393	3
50歳代	572	7
60歳代	875	13
70歳代以上	1,050	9
無回答	40	0
計	3,200	36

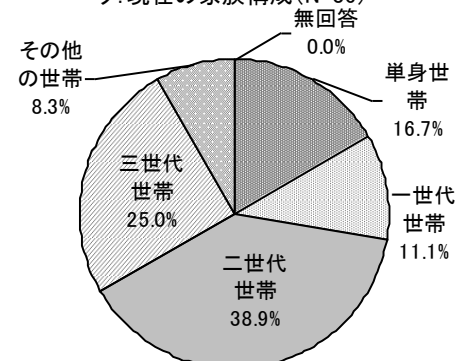
イ：年齢(N=36)



ウ：現在の家族構成

	全体	崎山
単身世帯	592	6
一世帯世帯	786	4
二世帯世帯	1,142	14
三世帯世帯	425	9
その他の世帯	194	3
無回答	61	0
計	3,200	36

ウ：現在の家族構成(N=36)



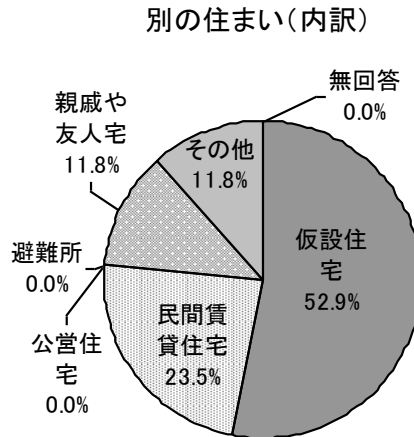
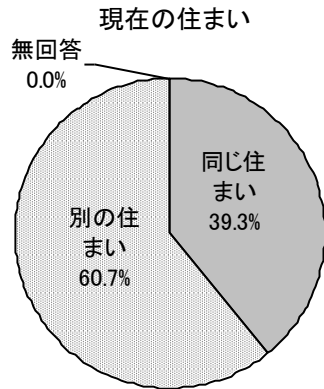
- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」の割合が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が多くなっています。

エ：現在の住まい

	全体	崎山
同じ住まい	993	11
別の住まい	1,672	17
無回答	35	0
計	2,700	28

	全体	崎山
仮設住宅	793	9
民間賃貸住宅	368	4
公営住宅	78	0
避難所	33	0
親戚や友人宅	177	2
その他	214	2
無回答	9	0
計	1,672	17

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,692人(崎山17人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は約 17%が「漁業」・「公務員・団体職員」で、職場については約 38%が「崎山」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、休職、失業)があったと回答した方は、約 30%となっており、変化なしは、約 46%となっています。

オ：震災前の仕事

	全体	崎山
農林業	28	3
漁業	371	6
製造業・建設業	447	4
販売・サービス業	618	3
公務員・団体職員	280	6
主婦(夫)	137	0
学生	1	0
無職	985	12
その他	263	1
無回答	70	1
計	3,200	36

カ：震災前の職場の場所

	全体	崎山
宮古	418	2
愛宕・光岸地	51	1
鍛ヶ崎	144	0
藤原・磯鶏	177	1
高浜	34	0
金浜	26	0
崎山	37	9
津軽石	78	0
赤前	66	0
重茂	59	0
田老	233	0
その他宮古市	141	1
県内	85	1
県外	43	0
無回答	486	9
計	2,078	24

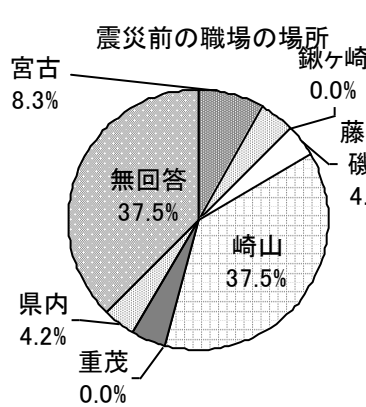
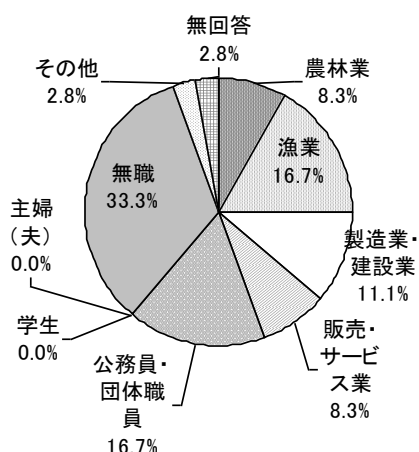
※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(崎山24人)を対象

キ：震災後の仕事の変化

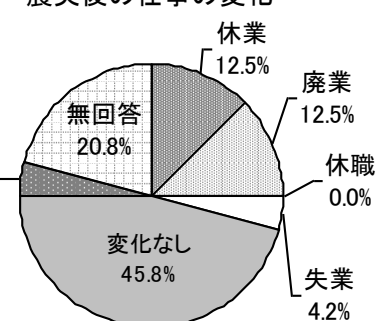
	全体	崎山
休業	396	3
廃業	138	3
休職	99	0
失業	182	1
変化なし	895	11
その他	182	1
無回答	186	5
計	2,078	24

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(崎山24人)を対象

震災前の仕事



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

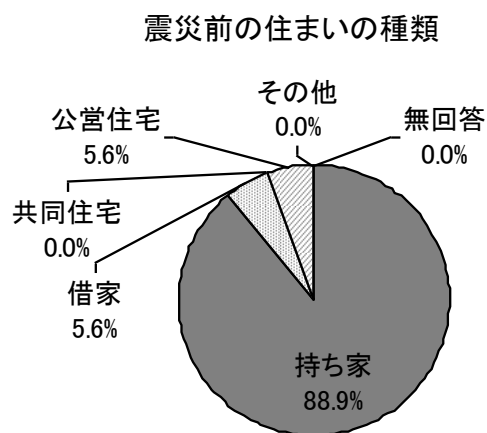
それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 崎山地域では、震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」または「全壊」など何らかの被害を受けている方が、回答者の半数以上を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」に住みたいと考えている方が39.3%、「近くの高台」と答えている方が32.1%を占めています。（4ページ）
- 住みたい場所の理由は「離れたくない」「早く住宅確保」が多くなっています。（4ページ）
- 今後の住まいとしては、約半数が「新築」を、次いで「補修」を希望しています。（4ページ）
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「近くの高台」で「新築」が最も多く、約30%となっています。（4ページ）

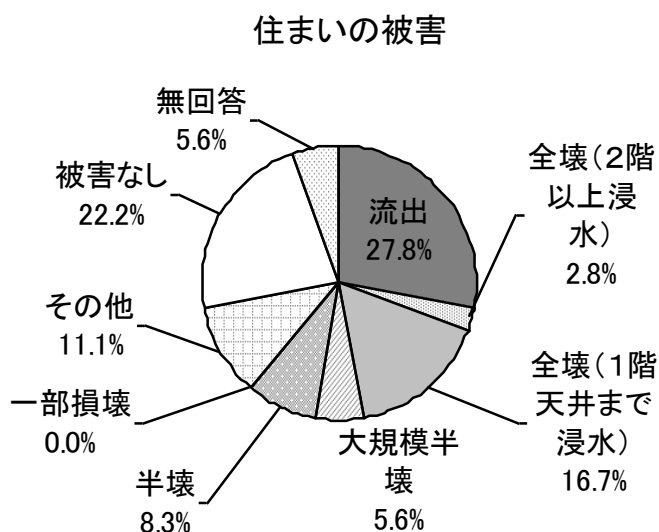
ウ：震災前の住まいの種類

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	32	88.9%
借家	225	7.0%	2	5.6%
共同住宅	218	6.8%	0	0.0%
公営住宅	26	0.8%	2	5.6%
その他	41	1.3%	0	0.0%
無回答	51	1.6%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	36	100.0%



エ：住まいの被害

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	10	27.8%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	1	2.8%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	6	16.7%
大規模半壊	408	12.8%	2	5.6%
半壊	305	9.5%	3	8.3%
一部損壊	147	4.6%	0	0.0%
その他	83	2.6%	4	11.1%
被害なし	500	15.6%	8	22.2%
無回答	73	2.3%	2	5.6%
計	3,200	100.0%	36	100.0%

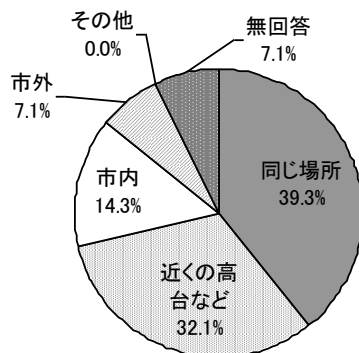


ア-1:住みたい場所

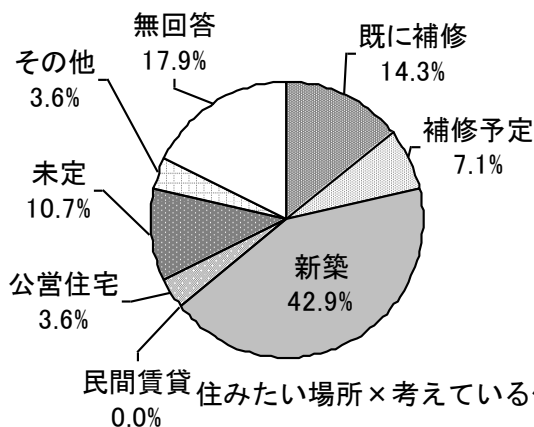
	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	11	39.3%
近くの高台など	753	27.9%	9	32.1%
市内	639	23.7%	4	14.3%
市外	99	3.7%	2	7.1%
その他	72	2.7%	0	0.0%
無回答	147	5.4%	2	7.1%
計	2,700	100.0%	28	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(崎山28人)を対象

住みたい場所



考えている住まい



住みたい場所×考えている住まいのクロス

住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	3 10.7%	2 7.1%	2 7.1%		1 3.6%			3 10.7%	11 39.3%
近くの高台など	1 3.6%		8 28.6%						9 32.1%
市内			1 3.6%			3 10.7%		1 3.6%	4 14.3%
市外			1 3.6%				1 3.6%		2 7.1%
その他									
無回答								2 7.1%	2 7.1%
計	4 14.3%	2 7.1%	12 42.9%		1 3.6%	3 10.7%	1 3.6%	5 17.9%	28 100.0%

イ:理由

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	17	60.7%
仕事場が近い	442	16.4%	4	14.3%
生活に便利	871	32.3%	5	17.9%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	9	32.1%
近所づきあい	640	23.7%	6	21.4%
子どもの教育環境	229	8.5%	4	14.3%
早く住宅確保	812	30.1%	11	39.3%
費用がかかる	797	29.5%	9	32.1%
その他	121	4.5%	0	0.0%
無回答	143	5.3%	2	7.1%
計	6,533	242.0%	67	239.3%

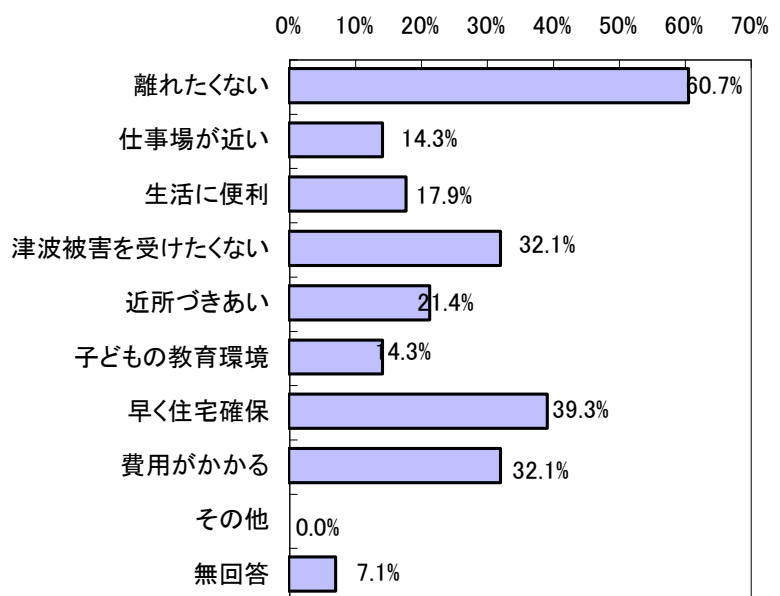
※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(崎山28人)を対象

ア-2:考えている住まい

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	4	14.3%
補修予定	269	10.0%	2	7.1%
新築	811	30.0%	12	42.9%
民間賃貸	89	3.3%	0	0.0%
公営住宅	176	6.5%	1	3.6%
未定	486	18.0%	3	10.7%
その他	82	3.0%	1	3.6%
無回答	299	11.1%	5	17.9%
計	2,700	100.0%	28	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(崎山28人)を対象

理由(複数回答)



(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震・二次災害」が約29%と多く、次いで「生活の自立」、「住宅確保」、「近所づきあい」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所や避難ルートを話し合う」が最も高いです。

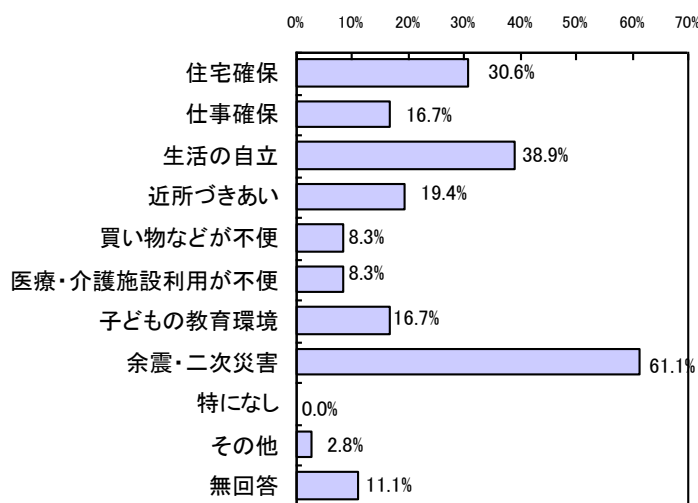
ア：これからの不安

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	11	30.6%
仕事確保	551	17.2%	6	16.7%
生活の自立	947	29.6%	14	38.9%
近所づきあい	526	16.4%	7	19.4%
買い物などが不便	806	25.2%	3	8.3%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	3	8.3%
子どもの教育環境	310	9.7%	6	16.7%
余震・二次災害	1,705	53.3%	22	61.1%
特になし	154	4.8%	0	0.0%
その他	104	3.3%	1	2.8%
無回答	173	5.4%	4	11.1%
計	7,301	228.2%	77	213.9%

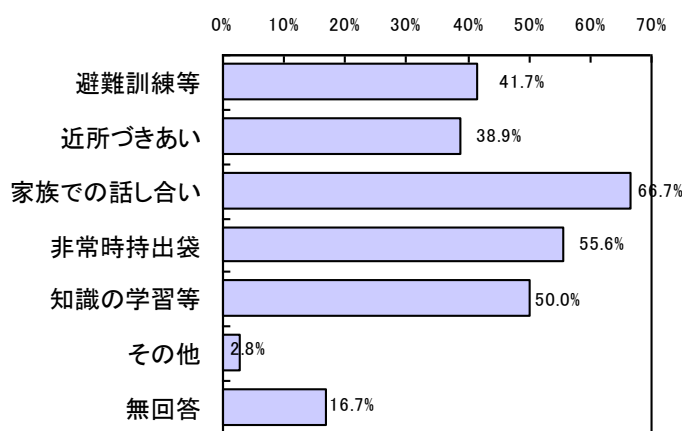
ア：今後の備え

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	15	41.7%
近所づきあい	1,406	43.9%	14	38.9%
家族での話し合い	2,043	63.8%	24	66.7%
非常時持出袋	1,970	61.6%	20	55.6%
知識の学習等	1,502	46.9%	18	50.0%
その他	128	4.0%	1	2.8%
無回答	333	10.4%	6	16.7%
計	8,680	271.3%	98	272.2%

これからの不安（複数回答）



今後の備え（複数回答）



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の約半数が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」や「個人住宅の再建支援や公営住宅等の整備など住まいの確保に向けた取り組み」を選択しており、日常生活への支援を望んでいることがわかります。特に崎山地域では「経済的な支援等」が半数以上と高い割合となっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」が約 56%と高い割合となっており、次いで「(生産施設の復旧、生産者支援、地産地消等の) 農林業振興に向けた取り組み」「製造業振興に向けた取り組み」となっています。
- 「安全な地域づくり」に関して、「防波堤や公共土木施設（道路、河川や漁港など）の早期復旧に向けた取り組み」が多く、次いで「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」となっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	20	55.6%
住宅再建支援	1,717	53.7%	16	44.4%
健康の維持	443	13.8%	7	19.4%
医療体制の確保	1,067	33.3%	4	11.1%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	5	13.9%
学校教育環境の整備	370	11.6%	4	11.1%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	1	2.8%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	12	33.3%
地域コミュニティ	421	13.2%	3	8.3%
無回答	433	13.5%	6	16.7%
計	7,672	239.8%	78	216.7%

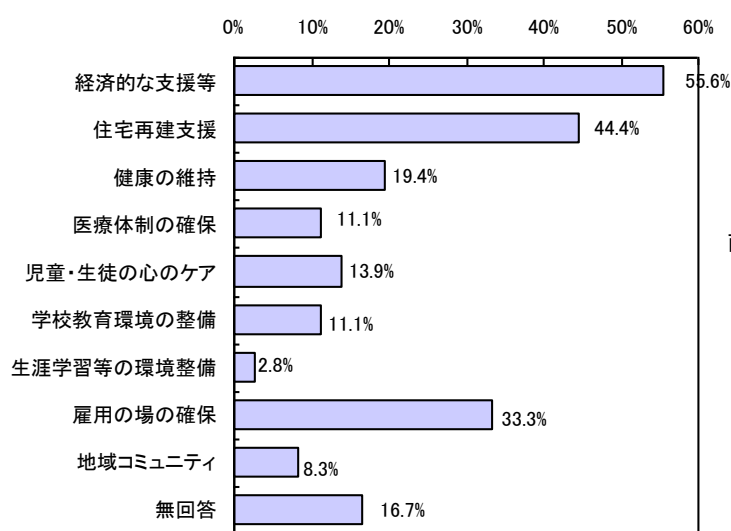
イ:産業・経済復興

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	8	22.2%
漁業振興	1,522	47.6%	20	55.6%
製造業振興	815	25.5%	8	22.2%
商業・サービス業振興	881	27.5%	4	11.1%
観光振興	467	14.6%	1	2.8%
港湾振興	489	15.3%	7	19.4%
産業創出	689	21.5%	7	19.4%
事業創出	438	13.7%	2	5.6%
無回答	746	23.3%	13	36.1%
計	7,014	219.2%	70	194.4%

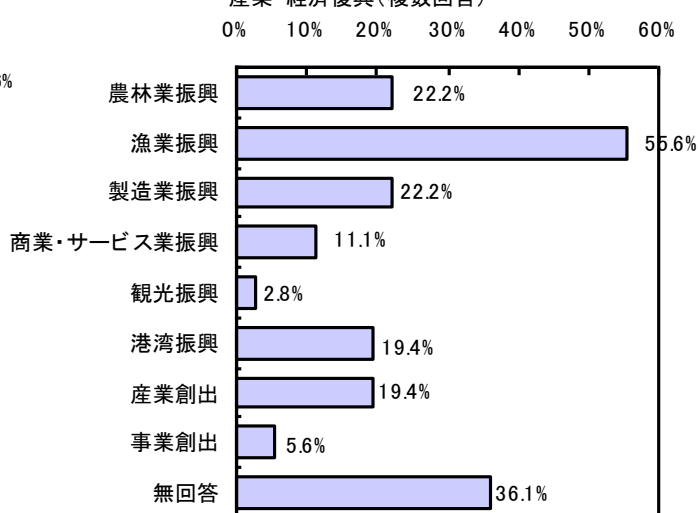
ウ:安全な地域づくり

	全体		崎山	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	23	63.9%
交通網整備	1,717	53.7%	12	33.3%
土木施設復旧	1,361	42.5%	20	55.6%
地域防災力	444	13.9%	4	11.1%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	5	13.9%
災害記憶継承	277	8.7%	1	2.8%
自然エネルギー	545	17.0%	7	19.4%
無回答	515	16.1%	7	19.4%
計	7,569	236.5%	79	219.4%

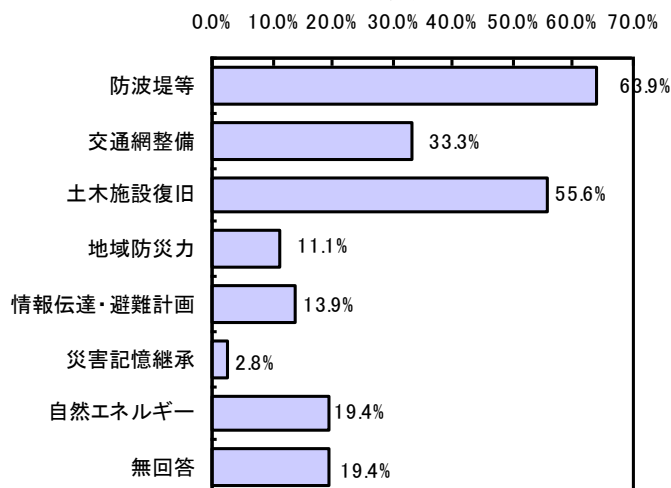
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 自由意見（原文要約）

- ・ 「住まいとくらしの再建」については、「移転した場合の被災した土地の処分」、「被災地での居住継続のための安全性確保や経済的支援」、「住まい確保に係る二重ローン問題」、「生活、就業支援」についての意見があります。
- ・ 「産業・経済復興について」では、「漁港、漁業施設の早期復旧」の意見があります。
- ・ 「安全な地域づくり」については、「堤防整備や道路」、「交通網整備」があげられています。
- ・ その他としては、「経済的支援」「復興・復旧のスピード化」などが上げられています。

住まいとくらしの再建について	
1	土地の価格が上がっていると聞くと、ますます確保するのが大変なのではないか。
2	生活が安定して初めて生活再建したと考えることが出来ると思うので経済的支援に力を入れてほしい。
3	二重ローン対策をお願いしたい。
4	地元スーパーでも使用できる共通券のような振興券の発行があれば良い。
5	高台に土地はあるが宅地造成に資金がかかるので補助をしてほしい。
6	漁業施設、船などに支援をしてほしい。
7	環境変化により家族が不安を感じている。
8	住まいの確保を早くしてほしい。
9	海洋レクリエーション施設（ヨットハーバー）、海水浴場の整備をしてほしい。
10	高齢者でも働ける場所がほしい。
11	仮設を出た後、住む場所がどうなるのか不安。
12	防潮堤の整備が完了しなければ前のように住宅・倉庫等を建てられない。早くても10年15年かかると思うが、その間どう暮らせばいいのか。
産業・経済復興について	
1	「なあと」を早期再開してほしい。
2	養殖施設の瓦礫がいまだに手つかずなので、早急に撤去してほしい。
3	漁船等が流出したため購入費、修理費等を支援してほしい。
4	浸水地域の利活用について早期に方向性を出してほしい。
5	1日も早く漁業が再開できるよう漁港の整備等を早期にしてほしい。
6	大きな店舗を建ててみんなで経営していくようなことをすれば街もにぎやかになるのではないか。
安全な地域づくりについて	
1	全海岸に防波堤を造ってほしい。
2	浸水区域には道路を造るべきではない。造るなら防潮堤を兼ねた道路とするべき。
3	海に面して走る道路より、山の中を走る市道の整備をしてほしい。
4	県立病院へ抜ける道路の整備をしてほしい。
5	日出島道路を整備してほしい。
6	海風を利用した風力発電への取り組みをしてほしい。太陽光発電設備の支援を強化してほしい。
7	防災無線を高台へ設置してほしい。
8	早期に防災無線を復旧してほしい。
9	メリットとデメリットを良く考えてから施設を造ってほしい。
その他	
1	この先が不安である。一日でも早い復興をお願いしたい。
2	罹災者と被災者との違いに気づいてもらえず、支援を受けたいが受けられずにいた。
3	体が不自由で一人暮らしなので不安である。
4	生活が苦しいので1週間に1回でも1ヶ月に何回でも、支援物資をお願いしたい。

